令和4年度　学校評価アンケートのまとめ

※令和4年9月実施

令和4年度　回答（提出）率 【全体】

令和2年度　91％（59／65）　令和3年度　90％（63／70）令和4年度 84％（58/69）

1　よくあてはまる　2　ややあてはまる　3　あまりあてはまらない　4　まったくあてはまらない　5　わからない

※ 80%以下

10%以上（6人以上）　R4年度　1人：約1.8%

番号		項目
教育方針	1	学校の教育方針や指導の内容に共感できる。
	2	学校は、児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばせるような工夫をしている。
	3	学校は、特色ある教育活動を展開している。
	4	学校では、先生と児童生徒が信頼し合って活動している。
家庭との連携	5	学校は、保護者（地域）が先生にいろいろなことを相談しやすい雰囲気である。
	6	学校の教育方針や指導の内容を保護者（地域）へわかりやすく伝えている。
	7	学校は、授業や学校行事等を参観する機会の有無又は、その実施方法について新型コロナウイルス感染症対策を最優先にして適切に計画している。
	8	学校は、進路に関する連絡や情報提供を児童生徒や保護者に向けて適切に行なっている。
	9	学校の先生と児童生徒あるいは保護者との懇談が十分に実施されている。
	10	学校の先生は、個別の教育支援計画を保護者や関係諸機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている。
教職員・授業	11	学校の教職員は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。
	12	学校の先生は、児童生徒に愛情をもって接している。
	13	学校の先生は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている。
	14	学校の授業は、児童生徒一人一人に合った教材・教具が準備されている。
	15	学校は、児童生徒の発達段階に応じた教科指導・自立活動等の工夫・改善に努め指導している。
学校独自項目	16	学校は、新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、医療機関とに連携を図って、児童生徒の健康管理に気を配っている。
	17	学校は、保護者や地域社会の意見に対して、誠意ある対応をしている。
	18	学校は、児童生徒の事故防止に努めるとともに、地震・火災・変災・防災等対策に対して、積極的に取り組んでいる。
	19	学校の諸会計は適切に処理され、その報告が保護者へ確実に伝えられている。
	20	学校は、児童生徒のプライバシーに配慮し、個人情報を大切に扱っている。
	21	学校は積極的にICT（タブレット等）を活用し、工夫した指導や支援を行っている

		1+2（%）			3+4（%）			5（%）		
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
教育方針	1	91.5	88.9	94.7	3.4	4.8	0.0	5.1	6.3	5.3
	2	93.2	88.9	98.2	3.4	7.9	1.8	3.4	3.2	0.0
	3	86.4	78.1	87.7	8.5	9.4	7.0	5.1	12.5	5.3
	4	94.9	90.9	93.0	1.7	3.0	0.0	3.4	6.1	7.0
家庭との連携	5	89.8	90.6	94.7	6.8	4.7	3.5	3.4	4.7	1.8
	6	88.1	87.5	96.5	8.5	4.7	0.0	3.4	7.8	3.5
	7		93.8	96.5		3.1	1.8		3.1	1.8
	8	81.4	71.4	91.2	10.2	9.5	5.3	8.5	19.0	3.5
	9	94.8	96.9	98.2	3.4	1.6	0.0	1.7	1.6	1.8
	10	86.0	85.7	89.5	3.5	3.2	3.5	10.5	11.1	7.0
教職員・授業	11	89.8	95.5	96.5	6.8	3.0	3.5	3.4	1.5	0.0
	12	96.6	95.5	98.2	1.7	1.5	0.0	1.7	3.0	1.8
	13	84.7	78.5	84.2	5.1	6.2	5.3	10.2	15.4	10.5
	14	83.1	84.6	91.2	5.1	9.2	5.3	11.9	6.2	3.5
	15	86.4	92.1	94.7	5.1	4.8	3.5	8.5	3.2	1.8
学校独自項目	16		86.2	93.0		3.1	1.8		10.8	5.3
	17	86.4	84.6	89.5	3.4	0.0	3.5	10.2	15.4	7.0
	18	88.1	93.7	96.5	5.1	1.6	0.0	6.8	4.8	3.5
	19	91.5	92.3	96.5	1.7	1.5	0.0	6.8	6.2	3.5
	20	93.2	98.4	96.5	1.7	0.0	0.0	5.1	1.6	3.5
	21			82.5			5.3			5.3
平均		89.2	93.4	**93.3**	4.7	4.1	**2.4**	5.7	7.2	**3.9**

【分析及び課題】

◆ Ｒ２、３年度より９０％以上の高い評価を得ている項目が多く、保護者にもわかり易い教育実践が行われている。
　＜該当項目＞　２１は今年度から評価項目に加えた、ICTを活用した学習を今以上に実践していけるようにしたい。

◆ コロナ感染拡大防止をしながら、教育活動を止めることなく、実施の仕方や規模を縮小しながらも実施したことが高評価につながっていると思われる。
➡ICTを活用した学習の一つに、タブレットを使ってのリモート学習がある。実際に家庭で学習をする際、保護者のスマホやPCを活用するが、保護者が常に帯同していないければならず、保護者への負担が大きい。また、リモート学習ができる児童生徒が限られていることもあり、教師の工夫と教材研究が必要となる。

➡進路についての報提供も掲示場所や掲示の仕方を工夫して保護者が見易いように工夫したり、総合支援部からの便りを配布したりすることで、関心がもてるようになった。今後も、小・中学部段階からの進路支援の取組や情報提供の仕方を工夫することで、保護者のニーズを的確にとらえてサポートができるようにしたい。

➡教員の専門性については数値は向上しているものの、少数だが厳しいご意見もいただいている。職員の異動やコアティーチャーを中心とした職員研修により、肢体不自由教育の専門性の向上に努めたい。